

発行者：公益社団法人 愛媛県鍼灸マッサージ師会  
会長 浦川 武之  
事務所：〒790-8032 松山市南斎院町 951-11  
TEL・FAX：089(974)1219  
E-mail：ehimekenshikai@e-ahaki.com  
編集者：機関誌作成委員長 岡田 亮

## 令和元年度 第3回保険勉強会 報告

保険部長 石丸洋

令和2年2月25日(火)19時30分～21時、愛媛県鍼灸マッサージ師会事務所において、令和元年度第3回保険勉強会を開催しました。今回の勉強会では16名の参加者のもと、あはき療養費の概要を説明し、支給申請書・同意書・総括表(I)(II)の記入方法、重度心身障害・ひとり親等の公費負担の方の書類作成

方法を重点に説明しました。平日の夜の開催でしたが、大勢の会員の方に参加いただいたことに感謝申し上げます。これまでに比べて参加人数が多かったことや、質問を多くいただいたことから、皆様の熱心な姿勢を感じることができ、とても充実した時間となったと感じております。

今回参加できなかった会員の皆様も、来年度の保険研修会・勉強会に是非とも参加いただきますようお願いいたします。

## 令和2年度 総会 案内

総務部長 森康臣

今年度の総会を下記のとおり開催します。

場所：松山市総合福祉センター 5階 中会議室  
松山市若草町 8-2  
TEL 089-941-4122

総会の前にご案内をお送りいたします。ぜひ参加していただきますようお願いいたします。

日時：令和2年5月17日(日)13時～15時

## 新型コロナウイルスによる融資制度

経理部長 佐藤佳孝

新型コロナウイルスによる患者さんの利用状況はいかがですか？

愛媛県でも3月に入って学校の休校措置により、来院数や訪問施術の依頼が激減している方もおられるのではないのでしょうか。従業員のお給料、経費の支払い、税金の納付、ローンなど支払う事が多い時期です。この状況も長期に亘る可能性が高く、当面の資金繰りが大変だと思います。

経済産業省から各事業者(大企業、中堅企業、中小企業・小規模事業者)向けに資金繰り支援が紹介されています。我々のような個人事業主、小規模事業者向けに、日本政策金融公庫から「新型コロナウイルス感染症特別貸付」・「特別利子補給制度」の併用で無利子・無担保融資を受けることが出来ます。

要件も緩くなっていますので、皆さんの事業形態に合った融資を確認いただき、この厳しい時期をどうぞ乗り越えてください。

【お問い合わせ先】

日本政策金融公庫 事業資金相談ダイヤル 0120-154-505

## 令和2年度会費納入について

経理部長 佐藤佳孝

令和元年度会費を一括振込された会員には振込用紙を同封していますのでご利用下さい。同封の振り込み用紙を紛失された場合は再送しませんので下記口座へお振り込みください。手数料は各自ご負担願います。

ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行の場合 【口座種別】普通 【口座名義】 社団法人愛媛県鍼灸マッサージ師会 【記号番号】 16130-12692781	ゆうちょ銀行 (現金で振り込まれる場合) 【口座種別】振替口座 【口座名義】 社団法人愛媛県鍼灸マッサージ師会 【口座番号】 01640-6-55297	他行(伊予銀行・愛媛銀行など)からの場合 【口座種別】普通 【口座名義】 社団法人愛媛県鍼灸マッサージ師会 【店名】六一八(ロクイチハチ) 【店番】618 【口座番号】1269278
---	--	---

「ゆうちょ口座から自動払込」で会費を納められている会員は毎月5日に引き落とされます。残高不足の場合は15日になります。

尚、4月は全鍼師会の会費も合わせた額になっていますのでご注意ください。

## 行事・研修会の開催予定(4月～6月)

- 4月12日(日) お灸接待(石手寺)  
第1回監査会
- 4月19日(日) 第1回定例理事会(松山市総合福祉センター)  
第2回選挙管理委員会(松山市総合福祉センター)
- 5月10日(日) 第1回学術研修会  
介護保険研修会
- 5月17日(日) 総会(松山市総合福祉センター)  
臨時理事会(松山市総合福祉センター)
- 5月24日(日) 全鍼師会定時総会(東京)
- 5月25日(月) 全鍼師会協同組合・政治連盟総会
- 6月14日(日) お灸接待(石手寺)
- 6月28日(日) IT研修会(未定)  
第1回保険研修会・第1回保険勉強会(未定)

## 編集後記

お笑い界の巨匠 志村けんさんが亡くなりました。子供の頃からテレビで見れていた方で、おそらく私にとって人生で最初にお笑いと言う世界を体験させてくれた方です。志村さんの死は、当たり前のように存在していると思っている人の命も、永遠に続くことはないということを実感させるものでした。

今自分にできること、それは一日一日を大切に生きていくということです。

故人のご冥福をお祈りするとともに、皆さんの健康を願っています。(岡田)